団体名（常陽銀行）

1.これまでのSDGsに関する取組でPRしたいこ

お客さま、株主、従業員など、すべてのステークホルダーと協同して、ゆたかな地域社会の創造に取り組み、持続的に成長することを目指しています。

- SDG s に取り組む団体に手数料の一部を寄付する私募債を通じて、お客さまの希望する学校やSDG s に取り組む団体、医療機関などに、お客さまとの連名で金銭や物品等を寄贈
- 地域産業の掘り起こしと新事業の創出を支援するため、「めぶきビジネスアワード」を開催
- 次世代を担う子どもたちを対象に、「金融教室」を通じて、お金の大切さや銀行の役割を学んでもらうことで、自立する力の育成を支援
- 当行グループの広域ネットワークを生かし、農業、食、ものづくり関連の各種商談会の開催やビジネスマッチングなどを実施
- 植樹活動や下草刈りを通じ、地域の環境保全活動を実施

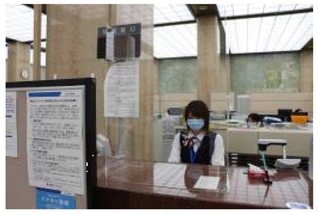
寄贈した玩具で遊ぶ園児

植樹活動の様子

2.コロナ禍での対応

お客さまと従業員の安全に配慮しつつ、コロナ禍の影響を受けているお客さまを当行グループの総力を挙げて支援しています。

- 実質無利子無担保融資制度、ファンドを通じた事業者の資金繰り支援
- ローン返済に関する相談窓口の設置
- 感染防止を考慮した店舗運営（アクリル板設置、店舗内のソーシャルディスタンスの推奨、いばらきアマビエちゃんの登録、テレワーク・スプリット勤務の推奨、マスク着用、社員食堂における対面着席の原則禁止、座席数削減など）
- 役職員によって集めた寄付金を「医療機関への応援金」として茨城県へ寄贈



アクリル板を設置した窓口

3.現在の課題等

- 長期的な視点を重視し、環境（E）、社会（S)、ガバナンス（G）情報を考慮してファイナンスを行う「ESG金融」の更なる推進
- 高齢者など、さまざまな利用者に対する金融アクセス、サービスの更なる拡充

4.他会員との連携希望

- 大規模災害やコロナ禍においてもお客さまがご来店することなく、いつでも、どこでも金融サービスをご利用いただけるよう、デジタライゼーションを推進しています。
- ＰＣやスマートフォンでご利用いただけるサービスを順次拡充しておりますので、是非ご活用ください。

問合せ先
常陽銀行経営企画部広報室　担当：高田
〒310-0021 茨城県水戸市南町2-5-5　029-300-2605 keiki-kouhou@joyobank.co.jp